

Title	地域経済研究会会則, 投稿規定, 表紙, 編集者のひとり言
Author(s)	
Citation	資本と地域 (2005), 2
Issue Date	2005-10
URL	http://hdl.handle.net/2433/66128
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

地域経済研究会の会則及び概要

地域経済研究会会則

第1条（名称）

本会は、地域経済研究会と称する。

第2条（目的）

本会は、地域経済に関する研究及びその普及、並びにこれらの研究者の連絡協同を目的とする。

第3条（事業内容）

本会は、研究会の開催、会誌及び書籍の刊行、その他本会の目的を達成するに適当な諸事業を行う。

第4条（会員）

本会の目的に賛同して会員となるには、本会に申込み、事務局の承認を受けることを要する。会員は、年会費 1,000 円を納めることとする。

第5条（代表者）

会員によって互選されたものが代表者となり、会務を執行する。

第6条（事務局）

代表者のもとに事務局及び会計担当者をおき、日常の業務を執行する。

第7条（事務所）

本会の事務所は、京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科の岡田知弘研究室に置く。

第8条（設立年月日）

本会は、1996年5月11日に設立する。

地域経済研究会の概要

【概要】

本研究会は、地域経済の理論、歴史、現状に関心のもつ研究者、大学院生、社会人が、隔月で開いている研究会である。

【会の略史】

1996年5月11日（土） 第1回研究会開催

2005年9月18日（土） 第53回研究会開催

【代表者】

岡田知弘（京都大学大学院経済学研究科教授）

【事務局・会計担当者】

三重遷一（京都大学大学院経済学研究科）

宇都宮千穂（京都大学大学院経済学研究科）

【機関誌】

『資本と地域』（毎年10月発行）

【事務局連絡先】

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

Tel/Fax：075-753-3462（研究室直通）

E-mail：okada@econ.kyoto-u.ac.jp

投稿規程と執筆要項

投稿規程

1. 本誌は主として、地域経済研究会内外の会員による地域経済および関連諸分野の研究成果を掲載する。
2. 本誌は年刊として、毎年10月に発行する。
3. 本誌への投稿に際しては、以下の規定に従うこと。
 - （1） 本誌への投稿原稿は、地域経済および関連諸分野に限る。
 - （2） 他で審査中あるいは掲載予定となっているものは、本誌への投稿・発表を認めない。
 - （3） 投稿者は事務局宛に以下の全てをメールすること。
 - ・ 原稿のファイル
 - ・ 原稿の表題、投稿者の氏名・ふりがな、所属機関名と肩書等、連絡先[郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス]
4. 掲載の採否は編集委員が決定する。
5. 本誌掲載に際しての著者校正は1回（初校のみ）とする。
6. 原稿執筆の様式は執筆要項に従うこと。
7. 原稿およびその他の送付物はいずれも返却しない。
8. 投稿の宛先は、地域経済研究会事務局宛（okada@econ.kyoto-u.ac.jp）とする。

執筆要項

1. 論文Ⅰは図表を含めて 30,000 字程度とする。
2. 論文Ⅱは図表を含めて 20,000 字程度とする。

3. 書評は 4,000 字以内とする。
4. 原稿は、横書きで、句読点も含めて 1 桁 1 字（欧文および数字は 1 桁 2 字）で作成する。ワープロを使用する場合は、余白・行間を充分にとること。
5. 注は、引用注・説明注を区別せず、通し番号を付して一括して本文の末尾に記す。章あるいは節ごとに分割しない。なお、引用・参考文献の表示方法については、WEB サイト（<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~okada/>）において、引用文献の表示方法の標準的なスタイルを示しているので参照されたい。
6. 人名など特殊な場合以外は、なるべく常用漢字・新かなづかいを用いる。なお、資（史）料を引用する場合は、かなづかいはそのままとし、旧字（正字）の部分を通用の書体（新字）に直す。たとえば「圓」は「円」、「鐵」は鉄。
7. 単位の表記については、スペースを節約するため、できるだけ％、kgなどの略字を用いる。数字の表記については、原則としてアラビア数字を使用する。桁数の多い数字の場合は、「5 億 6,524 万円」のように適宜単位を補ってもよい。
8. 謝辞は掲載できない。

資本と地域

第2号

内 容

巻頭言	暉 峻 衆 三
論文Ⅰ	
中国における基礎行政組織の再編－郷鎮政府を中心に－	李 海 波 (1)
論文Ⅱ	
栃木県のいちご生産についての一考察	和 田 昌 之 (23)
地域経済の現場から	
日本一住みよい街、栗東	野 下 俊 晴 (41)
地球をあるく	
「台湾」と台湾の原子力政策	郭 思 宜 (44)
書評Ⅰ	
中村雅秀・奥田宏司・田中祐二編著『グローバル戦略の新世紀パラダイム』	小 山 大 介 (48)
書評Ⅱ	
岩佐和幸著『マレーシアにおける農業開発とアグリビジネス－輸出指向型開発の光と影－』	池 島 祥 文 (50)
書を持って街に出よう	
馬路村訪問記	大 貝 健 二 (54)
今をとらえる	豊 福 裕 二 (55)
学会参加記Ⅰ	遠 藤 環 (56)
学会参加記Ⅱ	久 野 秀 二 (57)
研究の周辺Ⅰ	藤 本 晴 久 (59)
研究の周辺Ⅱ	宇 都 宮 千 穂 (60)
研究活動報告Ⅰ	(59)
研究活動報告Ⅱ	(62)
会員紹介	(63)
地域経済研究会会則、投稿規定	

編集者のひとり言

『資本と地域』第2号を発刊することが出来ました。地域経済研究会会員の皆様、寄稿して下さいました方々、そして創刊号に温かい応援のメッセージを寄せて下さった読者の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

今年の編集作業は、試行錯誤だった去年に比べると比較的順調に運んだように思いますが、これも創刊号で本誌の枠組みを作った先輩方の仕事と経験談によるところが大きかったように思います。とはいえ、編集者一同、これからも本誌紙面の充実を図って行きたいと願っております。第2号にも、引き続きご感想や忌憚の無いご意見を頂ければ幸いです。(関根佳恵)

研究会紀要の“第2号”がついに形になりました。作成に携わった皆様お疲れ様です。

紙幅と原稿とのバランスとりや、図表の切り貼りが編集上、一番困難な作業だったと思います。編集委員長の頑張りに祝杯！何事にも初代が基礎を築き、三代目がさらに発展させていくといった構図があります。で、二代目はというと、少々初代の恩恵に甘えて墮落して…それを三代目が再建するといった立場にあるのですが。とはいえ、何も今号は墮落していませんのでご安心ください。もちろん、飽くなき向上心を持って次号以降においても、より充実した紀要にしていきたいです。(池島祥文)

今回も前回と変わらず三重さん、関根さん、池島君の三人におんぶにだっことなっていました。皆さん、いつもいっつもごめんなさい。前回の目標であった、「次号も出そう」を達成できよかったです。原稿を寄せていただいた皆様、快諾していただき本当に有難うございました。第3号も、なるべく当初の発刊予定に間に合うように作業の方を続けていきます。(大貝健二)

本年も地域経済研究会会員の皆様には、多大なご尽力をたまわり『資本と地域』第2号を無事に発刊できたことを御礼申し上げます。お陰さまで、昨年よりもボリュームアップした紀要となりました。

この紀要が、地域経済研究会の会員の皆様や岡田ゼミの院生たちにとって、少しでも交流や情報発信の場となればと願っております。最後に、子育てでお忙しいなか、編集作業のアドバイスを頂いた宇都宮さんと、私たちの活動を暖かく応援してくださる岡田先生に心より感謝いたします。(三重遷一)

第2号をお届けします。本号は、原稿依頼から回収まで段取りよく進展し、去年に比べてずいぶん早く出版できました。編集委員のみなさま、お疲れ様でした。今年の私は編集委員とは名ばかりで、三重さんや関根さんのご厚意に甘えさせていただきました。編集後記を書くことも気が引けるのですが、私の状況を理解し助けてくれたことへの感謝の気持ちをここで表したいと思います。ありがとうございました。(宇都宮千穂)

資本と地域 第2号 (毎年10月発行)

2005年10月発行

発行人	岡田知弘
発行所	地域経済研究会
連絡先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室 Tel/Fax: 075-753-3462 (研究室直通) E-mail: okada@econ.kyoto-u.ac.jp 口座番号: 00940-1-167133
印刷所	(株) 田中プリント 〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入 Tel 075-343-0006